

第25期

事業報告書

2004年1月21日～2005年1月20日



次世代の住環境を見据え、 新しい庭文化を創造する。

私たちタカショーグループは1980年創業以来、ガーデニング&エクステリアを心豊かな生活文化と捉え、“ハート&アート”を基本テーマに様々な庭空間を皆様にお届けしてまいりました。それは暮らしに新鮮な風を吹き込み、庭での暮らしに関わるすべての人々の笑顔を育むライフスタイルのご提案に他なりません。

日本の四季やわびさびの美学が息づく、静寂で凛とした和の庭園づくり。自然の鮮やかな色彩を楽しむ、華やかな洋のガーデニング。アジアとヨーロッパ

の文化が重なり合うニュージャパネスクの世界……。私たちは国内外に広がるグループネットワークを活かし、地球規模であらゆるエレメントを融合させて、既存の枠を超えた独自の世界を創り上げ、永く受け継がれる空間づくりを目指してまいります。

また“自然との共生による循環型社会の実現”も私たちの大きなテーマのひとつです。リーディングカンパニーとしての誇りと責任を胸に、商品づくりはもちろん、企業活動全体の姿勢としてグループ一丸となって環境対応に取り組んでまいります。

Heart&Art



心 Heart

五つのかどわりに
真心こめて、
心がなごむ庭づくり



風 Wind

それは木々や草花を
揺らし、季節を運び、
人と自然を包みます。



光 Bright

それは世界を彩り、
夢を織りなし、
人と自然を照らします。



水 Stream

それは生命を吹き込み、
季節を充たし、
人と自然を潤します。



緑 Green

それは大地に根ざし、
大地を被い、
人と自然を癒します。

株主の皆様へ



代表取締役社長

高岡 伸夫

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援、ご高配を賜り誠にありがとうございます。このほど2004年1月21日から2005年1月20日までの「第25期事業報告書」がまとまりましたので、ここにご報告させていただきます。

Q ガーデニング市場の将来性についてお聞かせください。

A ガーデニング市場において2つのポイントを挙げるができます。ガーデニングと言えば、鉢で花を育てることを一般的には想像しがちですが、タカショーが考えるガーデニングとは我々が生きていく中でもっとも大事なテーマとなっている「環境」を見据えた文化創造活動です。つまり、人、そして我々を取り巻くすべての生き物の空間を健全に保つことがひとつの大きなポイントとなります。

例えば、庭に水辺を作り、植物、虫、動物の生命の源を守り育てるための仕組みづくりや動機付けであり、それを産業化していくことが我々の仕事です。

もうひとつのポイントは、これからの庭での暮らし方となる「リビングガーデン」です。ドイツにおけるガーデン市場の規模は1兆1千億円と言

われ、植物を主体とした商品が多い一方、我が国は工業型の金属エクステリア中心の商品が大きなシェアを占め、市場規模はその半分にも及びません。人が楽しく、幸せに、健康的に暮らせる室内から庭への延長線上のステージをリビングガーデン（LIVING IN THE GARDEN）とタカショーは呼んでおります。

この市場は年間100万戸の着工住宅数や、また潜在住宅戸数5,000万戸のリフォームガーデンまでを含んで、大変大きな市場を形成しております。日本のガーデン市場が欧米並みになると、この分野からだけでも人口比率で見れば2兆円ほどに成長すると見込んでおります。

上記のことからガーデニング市場の将来性は明るく、拡大するものと考えております。

タカショーの事業展開

独自の商品開発力でガーデニング市場をリード

Global Network

海外タカショーグループ

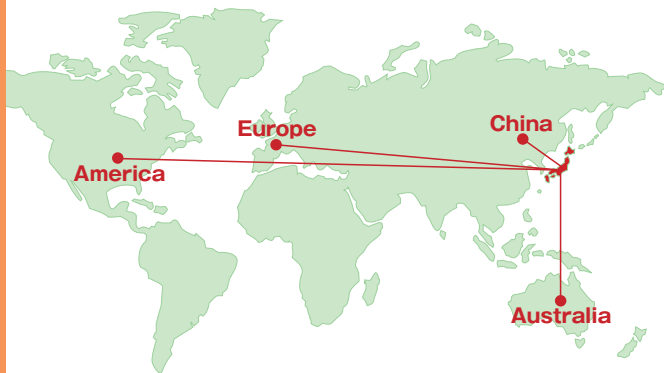
天津高秀国際工貿有限公司	広州オフィス
広東高秀花園制品有限公司	上海オフィス
上海高秀園芸建材有限公司	福州オフィス
有限会社タカショー・ヨーロッパ	台湾オフィス
株式会社タカショー ノースアメリカ	シドニーオフィス
タカショー 코리아 有限会社	

海外販売

- アメリカ
- イギリス
- イタリア
- オランダ
- ドイツ
- フランス
- 中国
- 台湾

海外提携

- アメリカ
- イギリス
- イタリア
- オランダ
- ドイツ
- オーストラリア
- 台湾
- スペイン

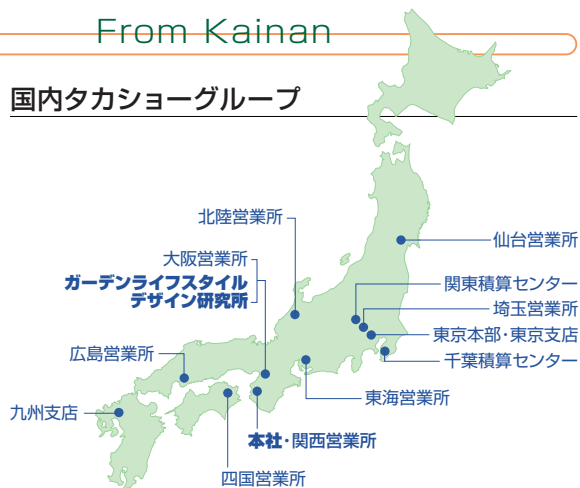


Takasho

本社には国内外からのマーケティング情報を集約すると共に、プランニング機能、物流システム開発から品質管理、人材開発、お客様支援サービスの整備に至るまでのコア機能を集約させ、世界のグループネットワークを動かしています。

From Kainan

国内タカショーグループ



ガーデンプラン

株式会社青山ガーデン

- ガーデンエクステリアにおけるデザインソフトの販売
- ガーデンの設計施工
- 女性を中心としたガーデンデザイナーの養成
- ガーデニングに関するセミナー及び教育
- ガーデン用品に関するオリジナル通販及びギフト販売

生産グループ

和歌山ガーデンクリエイト株式会社

- アルミ柱加工
- エバーバンブーフエンス製造
- 合成竹組立
- 別注商品製造及び輸入品二次加工
- 商品開発及び改良

奈良ガーデンクリエイト株式会社

- 天然竹製品加工及び材料管理
- 木製フェンス及び連杭などの塗装加工
- 輸入製品の品質管理

徳島ガーデンクリエイト株式会社

- エバーバンブーボード真空成型及び組立
- ラディス・ラフィードフェンス加工及び組立
- 押出及び射出成型管理

株式会社タカショーデジテック

- LED（発光ダイオード）照明機器の企画開発
- LED（発光ダイオード）サイン商品の企画開発

デザインプラン

株式会社日本インテグレート

- デザインの開発
- 印刷物の企画、制作

Market

●環境への取り組み

地球環境や人へのやさしさを追求しています。



▶3つのRへのこだわり

環境保全・再生に向けた環境産業への転換が地球環境再生への足がかりになると考えます。

リサイクル
(繰り返し使える)
Recycle

リデュース
(長持ちする)
Reduce

リユース
(部分的に再利用)
Reuse

▶バイオガーデン

人と自然とが共存しあえる、やすらぎのある水辺の空間をご提案しています。



●物流システム

お客様の様々なニーズにお応えするため、物流拠点、物流システムの充実を目指しています。



中央ロジスティックセンター

●情報サービス

新商品のお知らせや、エクステリア情報を発信しています。



ホームページ



Webカタログ



Web自動積算システム

<http://takasho.jp>

▶プロユース PROガーデンエクステリア分野

緑化などの公共事業、戸建て、商業施設、ハウスメーカー様の企画・設計デザイン、施工部門などプロのお客様をトータルサポートいたします。



総合カタログ



カテゴリーカタログ



庭PRO

▶ホームユース ホームセンター・ガーデンセンター

DIYを基本とした庭づくりもお任せください。ホームユースブランドの「GADIS(ガディス)」はホームセンター向けの弊社ブランドです。



GADIS

▶e-コマース/通信販売

インターネットを通じて売買するe-コマースはお陰様で、年々知名度を上げております。今後はさらに商品アイテム数を拡充させ、お客様のご要望にお応えしてまいります。



yahoo!



楽天

青山ガーデン
AOSHIMA GARDEN CO., LTD.

マーケットを世界に海外7番目の拠点として韓国にタカショー 코리아を設立

2004年8月にタカショー 코리아 有限会社を新しい仲間として迎えました。日本と韓国の両国間における文化・国民交流は急激に進み、今後も活発化すると考え、タカショーは日本の庭園文化事業を韓国で展開していくために、韓国の代理店であった“ROTENBURO”に資本参加し、社名もタカショー 코리아 有限会社に改めました。

世界中で「タカショー」がガーデニングの代名詞となるよう、更なる発展を目指します。



ガーデニング業界最大のトレードショー「ジャパンガーデニングフェア for 2005」に出展

昨年11月、横浜パシフィコにて開催されました国内最大級のエクステリア & ガーデンビジネスショーであるジャパンガーデニングフェアに出展いたしました。

今回はリビングガーデンをテーマにライフスタイル型の様々なガーデンシーンの空間提案を展示し、皆様にご好評いただきました。商品として、ホワイトを基調とした木粉入り樹脂製フェンス『e-モクブラフェンス』、新企画の【古い木】をイメージしたアルミラッピング材『クラシックウッドシリーズ』、カラーバリエーションが豊富になり、それぞれの好みのスタイルに合わせやすくなった『e-ウッドシリーズ』、また、昨年より発売を開始しましたLED発光体タイル『マーベライト』などが注目を浴び、好評の内に閉幕いたしました。



■ 新子会社タカショーデジテック設立

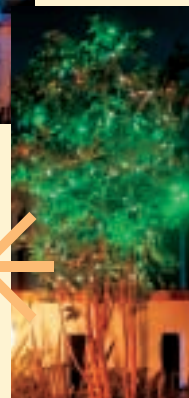
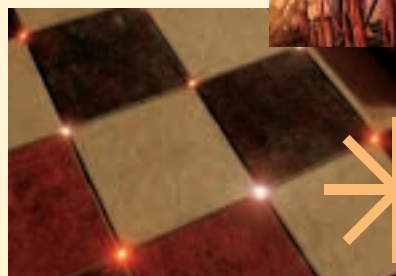
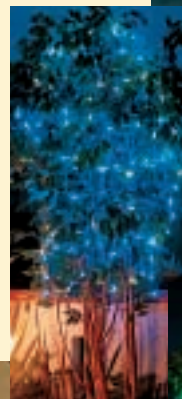
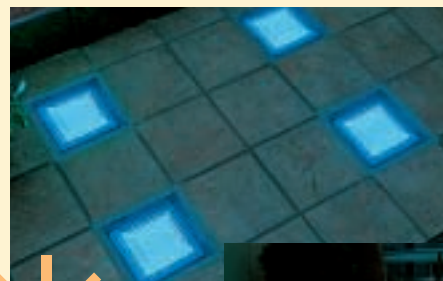
2004年11月22日、低消費電力・長寿命で環境に配慮したLED商品の開発・製造・販売を目的とする新子会社「株式会社タカショーデジテック」を設立いたしました。

タカショーとしては8社目の子会社となるタカショーデジテックでは住宅・庭・商業施設・公共施設の照明器具やサイン・看板のLED化を有望市場と捉え、開発・製造・販売を展開します。

タカショーデジテックでは販売チャンネルに合わせ、商業・公共施設向けのLEDPRO（エル・イー・ディー・プロ）や造園業者・デザイナーなどプロ向けのEXLEDS（エクスレッズ）、そしてホームセンター・ガーデンセンター・大型量販店向けのLEDGARDEN（エル・イー・ディー・ガーデン）の3つのカテゴリーを設け、それぞれに合った商品を提案してまいります。

また既存のライト商品の検品や修理などのメンテナンス業務も請負い、より安心して使用していただける体制を整えてまいります。

この他に金沢工業大学と連携し、新しい商品の開発に向け共同研究を行ってまいります。



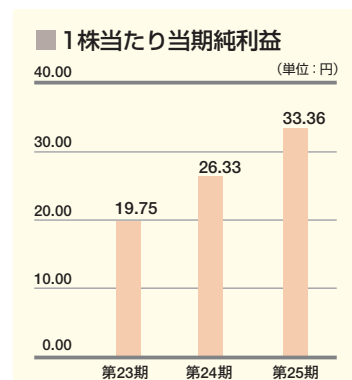
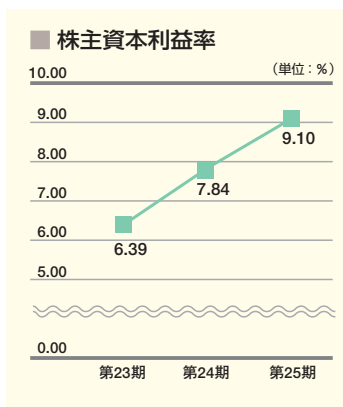
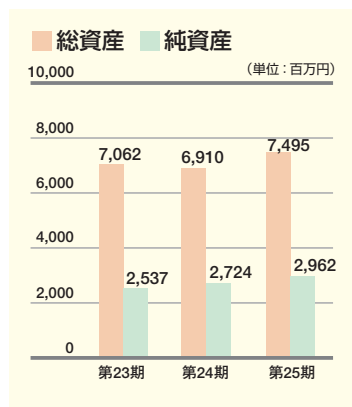
連結財務諸表(要約)

貸借対照表

科 目	第25期	第24期
	平成17年1月20日現在	平成16年1月20日現在
●資産の部		
流動資産	5,572	5,130
固定資産	1,922	1,779
有形固定資産	1,404	1,338
無形固定資産	32	30
投資その他の資産	485	410
資産合計	7,495	6,910

(単位：百万円)

科 目	第25期	第24期
	平成17年1月20日現在	平成16年1月20日現在
●負債の部		
流動負債	3,376	3,231
固定負債	1,137	954
負債合計	4,513	4,185
●少数株主持分		
少数株主持分	18	—
●資本の部		
資本金	463	463
資本剰余金	486	486
利益剰余金	2,047	1,808
その他有価証券評価差額金	6	1
自己株式	△31	△27
為替換算調整勘定	△10	△8
資本合計	2,962	2,724
負債、少数株主持分および資本合計	7,495	6,910



注) 当社は平成16年9月13日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。当該分割が過年度に行われたと仮定して再計算しております。

損益計算書

(単位：百万円)

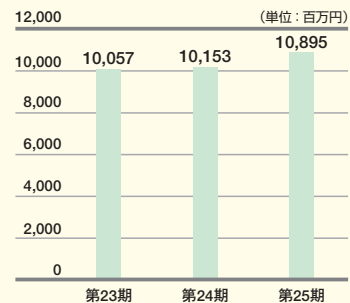
科 目	第25期 平成16年1月21日から 平成17年1月20日まで	第24期 平成15年1月21日から 平成16年1月20日まで
売上高	10,895	10,153
売上原価	6,191	5,900
売上総利益	4,703	4,252
販売費および一般管理費	4,174	3,786
営業利益	528	466
営業外収益	30	38
営業外費用	61	157
経常利益	498	346
特別利益	16	—
特別損失	50	9
税金等調整前当期純利益	464	337
法人税、住民税および事業税	229	113
法人税等調整額	△36	10
少数株主利益	1	—
当期純利益	270	213

キャッシュ・フロー計算書

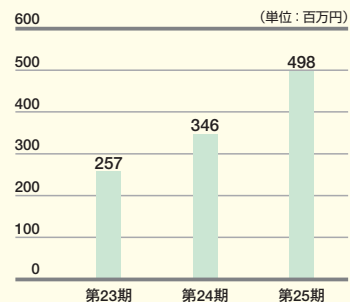
(単位：百万円)

科 目	第25期 平成16年1月21日から 平成17年1月20日まで	第24期 平成15年1月21日から 平成16年1月20日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	194	778
投資活動によるキャッシュ・フロー	△222	△174
財務活動によるキャッシュ・フロー	32	△572
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	△36
現金及び現金同等物の減少額	2	△5
現金及び現金同等物の期首残高	1,230	1,235
現金及び現金同等物の期末残高	1,232	1,230

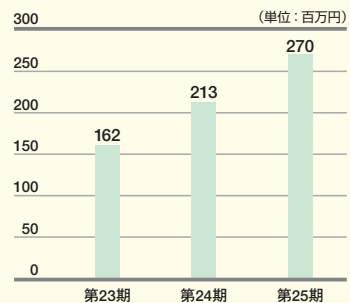
● 売上高



● 経常利益



● 当期純利益



個別財務諸表(要約)

貸借対照表

科 目	第25期	第24期
	平成17年1月20日現在	平成16年1月20日現在
●資産の部		
流動資産	4,749	4,450
固定資産	1,801	1,640
有形固定資産	1,069	982
無形固定資産	22	22
投資その他の資産	709	636
資産合計	6,551	6,091

(単位：百万円)

科 目	第25期	第24期
	平成17年1月20日現在	平成16年1月20日現在
●負債の部		
流動負債	3,062	2,916
固定負債	1,110	911
負債合計	4,172	3,828
●資本の部		
資本金	463	463
資本剰余金	486	486
利益剰余金	1,453	1,337
その他有価証券評価差額金	6	1
自己株式	△31	△27
資本合計	2,378	2,262
負債および資本合計	6,551	6,091

損益計算書

(単位：百万円)

科 目	第25期	第24期
	平成16年1月21日から平成17年1月20日まで	平成15年1月21日から平成16年1月20日まで
売上高	10,504	9,803
売上原価	6,484	6,110
売上総利益	4,020	3,692
販売費および一般管理費	3,692	3,417
営業利益	328	274
営業外収益	36	84
営業外費用	81	147
経常利益	282	211
特別利益	30	—
特別損失	48	7
税引前当期純利益	264	203
法人税、住民税および事業税	143	37
法人税等調整額	△25	36
当期純利益	146	129
前期繰越利益	644	545
当期末処分利益	791	675

利益処分

(単位：百万円)

科 目	第25期	第24期
	平成17年4月16日	平成16年4月10日
当期末処分利益	791	675
利益処分額		
利益配当金 (1株につき)	32 (4.0円)	30 (7.5円)
次期繰越利益	758	644

会社の概要／株式の状況 (平成17年1月20日現在)

会社の概要

商号 株式会社タカショー
TAKASHO CO.,LTD.
本社 和歌山県海南市阪井489番地
設立 昭和55年8月
資本金 463,960,704円
従業員 208名

主要な事業内容

- ◆ ガーデニングフェンス
(人工竹木フェンス関連商品・天然竹木フェンス関連商品)
- ◆ 庭園資材(緑化資材・ガーデンファニチャー・人工植物関連商品)
- ◆ 照明機器(ガーデンライト商品)
- ◆ 池・滝・噴水
- ◆ その他(坪庭・プライベートブランド商品等)

主要な事業所

本社	和歌山県海南市	福州事務所	中国 福州市
東京支店	東京都千代田区	上海事務所	中国 上海市
九州支店	福岡県筑後市	広州事務所	中国 広州市
仙台営業所	宮城県仙台市	台湾事務所	台湾 高雄市
関東積算センター	群馬県前橋市	オーストラリア事務所	オーストラリアシドニー
埼玉営業所	埼玉県坂戸市	ガーデンライフスタイルデザイン研究所	大阪府大阪市
千葉積算センター	千葉県君津市		
東海営業所	愛知県東海市		
北陸営業所	石川県石川郡		
大阪営業所	大阪府大阪市		
広島営業所	広島県東広島市		
四国営業所	徳島県吉野川市		

株主メモ

事業年度 1月21日から翌年1月20日
決算期 1月20日
配当金 1月20日現在の株主、中間配当実施の時は7月20日現在の株主に、それぞれ配当します。
定時株主総会 毎年4月
公告掲載新聞 日本経済新聞
名義書換代理人 東京都千代田区丸の内1丁目4番3号
UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 大阪府中央区伏見町3丁目6番3号 〒541-8502
UFJ信託銀行株式会社 大阪支店 証券代行部
TEL (06) 6229-3011 (代表)

同取次所 UFJ信託銀行株式会社 全国本支店

● 株式関係のお手続き用紙のご請求は、次のUFJ信託銀行の電話及びインターネットでも、24時間承っております。
TEL ☎0120(24)4479 (本店証券代行部)
0120(68)4479 (大阪支店証券代行部)
<http://www.ufjtrustbank.co.jp/>

役員

代表取締役社長	高岡 伸 夫	取締役	岡室 宏 之
常務取締役	平松 昇	監査役(常勤)	増川 昭 夫
取締役	高岡 淳 子	監査役	足立 昌 彦
取締役	丸山野 行 信	監査役	宮尾 文 也
取締役	寒川 浩		

株式の状況

会社が発行する株式の総数……………26,000,000株
発行済株式の総数……………8,279,814株
当期末株主数……………1,459名

大株主(上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
高岡伸夫	2,930 ^{千株}	35.39 %
タカショー社員持株会	428	5.17
ナキスビクホビュラリアトリストスタース	233	2.82
岡室宏之	203	2.45
高岡マサエ	176	2.12
株式会社 UFJ銀行	166	2.00
小倉貿易株式会社	160	1.93
竹田和平	160	1.93
新神戸電機株式会社	158	1.91
浅川文明	150	1.81

※注 当社は自己株式188,244株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。



特典
1

タカショーオリジナルカレンダー
プレゼント

ガーデニング
に関する
お役立ち情報をお届けします。

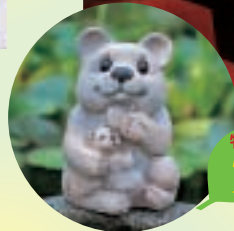
特典
4

タカショー庭通信
プレゼント



特典
3

自社カタログ掲載商品を
割引販売



特典
2

ご所有株数1,000株以上で
自社商品プレゼント

特典
5

ご所有株数100株以上
1,000株未満で種苗プレゼント

特典
6

年に一度タカショーイベントにご招待!
● 但し、交通費は実費となりますので、ご了承ください。

 Takasho

株主優待のお知らせ

当社は株主優待制度として、庭のお好きな方や、これから庭を楽しみたい方にさらにご満足いただける「タカショーガーデン友の会」を発足いたしました。目的は、当社を通じ豊かな時代を創るオーナーとして、21世紀の環境づくりに参加していただき、なお且つガーデニング人口を増やしていこうという考えも入っております。今後とも、より一層のご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

(注) 特典2、5、6については、毎年1月20日の株主名簿及び実質株主名簿に記載または記録された株主様のみとなります。

株式会社 タカショー

本社 和歌山県海南市阪井489番地 〒642-0024

TEL 073-487-0165 (代表) FAX 073-487-2313 ホームページ <http://takasho.jp>

 
古紙配合率100%再生紙